

平成 21 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1475200299	事業の開始年月日	平成11年2月16日	
		指定年月日	平成12年3月28日	
法人名	医療法人社団三喜会			
事業所名	グループホーム中原			
所在地	( 241-0041 ) 神奈川県川崎市中原区下小田中3 - 2 - 25			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	9名	
		ユニット数	1 ユニット	
自己評価作成日	平成22年2月10日	評価結果 市町村受理日	平成22年7月9日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1475200299&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1475200299&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域に根ざしたサービス事業所を目指し、町内会や地区社協等との連携を密に持ってサービスにあたっている。
--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ｸﾞﾞ ｽﾌﾞﾌﾞ 3階		
訪問調査日	平成22年3月16日	評価機関 評価決定日	平成22年5月12日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

#### 家族や地域への情報の開示

法人が運営する居宅サービスの4事業所が順番にリレー形式で月1回発行する事業所の季刊紙「ファミリー」は利用者やその家族にホーム情報を開示し、信頼の構築を目指しています。また、この季刊紙は、各事業所のホームページでも開示され、地域とホームを結びつける情報源ともなっています。

#### ボランティアの募集と受入れなど地域との連携

運営推進会議メンバーの後押しや法人本部のボランティア推進室の協力を得て、町内会の回覧でボランティアの募集やホームで利用するウエス用の布の提供などのお願いをしております。その結果は、個人、団体の多くのボランティアを受入れることができ、水曜日を除き毎日ホームで活動しています。また、ウエス用の布の提供も、驚くばかりの協力を受け、改めて地域の力の凄さを実感させられています。

#### 重度化や終末期への積極的な対応

法人は、医療法人としての信念に基づき重度化や終末期への対応に積極的に取り組んでいます。ホームでも職員は、入職時に法人の方針を示され、その方針に共鳴して入職しており、日頃は訪問看護師などから看取りの看護のレクチャーを受けるなどして、重度化や終末期の受入れ体制構築に取り組んでいます。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム中原
ユニット名	

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>地域に根ざした事業所で有るように努めている。</p>	<p>職員全員で、親や祖父母を入所させたいと思えるようなサービスのあり方について考え、事業所独自の「中原の介護理念」を作り上げています。平坦な言葉で表現された理念は、職員にも良く理解され、共有化とその実践が図られています。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地区町内会の参加や広報誌への掲載。町会会員様から畑を借りる等の地域との繋がりを常に意識している。</p>	<p>事業所は、地域との関わりに力を入れており、運営推進会議メンバーの力添えで地域広報誌にホームの紹介記事を掲載してもらい、一気に地域での認知度を高めています。回覧板でのボランティア募集にも、多数の個人、団体の参加を得ています。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域への浸透度はまだ不十分である。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議での意見を日々のケアに活かす様にしている。</p>	<p>今年度は、民生委員など地域代表のメンバーからの提言を受けて、ホームから地域に向けた情報の発信に力を注いでいます。また、新たな入居希望者へのホーム紹介なども、地域包括のメンバーにお願いするなど、会議を有効に活かしています。</p>	<p>運営推進会議メンバーの負担が大きくなりますが、理解と協力を求め開催回数を増やし、会議の一層の活性化とサービスの向上に活かすことが期待されます。</p>
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>日頃からの連絡体制は未だ確立されていない。</p>	<p>介護保険の更新など事務的手続きで区役所など行政と連絡や接触を持ったり、運営推進会議に参加してもらう等の協力を得ていますが、双方とも協力関係を築くような日常的な取り組みには至っていません。</p>	<p>事業所として、行政との連携を働きかける積極性が必要と思われます。市の介護相談員派遣事業を活用し、行政と共にサービスの向上に取組まれる等、状況の改善が期待されます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束廃止に向けて日々拘束のない介護を意識している。</p>	<p>前回評価時に、家族の同意の下で行われていたベッド4点柵による拘束環境は、身体拘束廃止の取り組みにより、委員会の確認の下で廃止し、現在2点柵の利用に改善されています。玄関の施錠は、家族の意向もあり、施錠を継続しています。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>サービス事業者として有ってはならない物と認識している。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度の理解と活用は不十分で有る。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約者が理解を得られるように説明を十分に行っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議には必ず家族代表の方に参加を募り、サービスに対するご要望を頂戴させて頂いている。</p>	<p>家族会のような場は設けていませんが、誕生日には家族を招待するなどして、話し合う機会作りを工夫しています。また、季刊紙「ファミリー」を通じて、家族に利用者の生活情報を提供するなど、意見のもらいやすい環境作りにも配慮されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	所内カンファレンスで、日々の業務や運営に関する意見交換を行っている。	毎日の朝夕の申送り時や毎月のカンファレンスで自由に意見交換がされています。今回の自己評価にも参加して意見を反映させています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きがいの有る職場をめざし職場環境の整備に努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	昨年は人員不足が解消出来ず、研修への参加は少なかった。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	2ヶ月に一回行われる法人での合同会議で他事業書の管理者との交流を図っている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	信頼関係を築く為の努力は常に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の意見には常に耳を傾け、信頼関係の構築に努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	開始される段階でのアセスメントを十分に行うように努めている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の家である事を常に意識し、当たり前を送って頂ける様に出来る事は共に行って行く事をこころがけている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の協力無くして御本人様乃生活を支えて行くことはできないと考えている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御本人からのご要望には最大限お答えするように努めている。	職員の定着率が高く、長年の関わりで気心が通じており、利用者から馴染みの人や場所の情報を聴き取り、良く把握しています。ホームと同じ町内に住む職員も多く、散歩の途中で触れ合う馴染みの人達との交流を深めるなどの支援をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の関係性には常に目配りをさせて頂いている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	常に門戸は開き、いつでもご相談を受けさせて頂くよう努めている。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常に御本人の思いの把握に努めている	馴染みの情報収集と同様、利用者や家族と職員の関わり密度が高く、生活歴や本人の暮らし方への希望は細かく聴き取り、把握しています。意思表示困難な利用者の思いなどは、家族の意向や24時間シートを基に本人本位に検討把握しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や行ってこられた習慣などを大事にさせて頂く様に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	二四時間の業務日誌に記録をし、そのかた一人一人の状況把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>所内カンファレンスにおいて課題などを検討する会を設けている。</p>	<p>介護計画では利用者や家族の意向を大切に「解決すべき課題と目標」に対して、カンファレンスを開き、目標達成に向けたサービス内容を検討しています。計画期間の終了時には、目標の達成度評価が行われ、次の計画の見直しに繋がっています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の業務日誌を個別に記入し、日々の介護業務にケアプランを盛り込んでいる。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>常に柔軟な発想でのサービス提供に努めている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源の把握という点では未だ未だ不十分である。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>かかりつけの診療所に二四時間の対応や緊急時の連絡先を教えて頂いている。</p>	<p>利用者や家族の希望があれば、従来からのかかりつけ医の受診を支援しています。このホームでは、月2回の定期受診の間診効率化のため、利用者の生活情報やバイタル、精神状況を2週間分取りまとめ、かかりつけの医師にも事前提示しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常での利用者様の医療的処置が発生した場合は指示を仰ぐようにしている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療機関との退院協働等で、関係性の構築に努めている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>介護施設での出来る事できないことを明確に説明し、重度化した利用者様への対応に取り組んでいる。</p>	<p>法人は、医療法人としての信念に基づき重度化や終末期への対応に積極的に取り組んでいます。このホームでも、利用開始時に重度化や終末期の対応方針を説明すると共に、利用者や家族の意向を確認し、将来の対応方針を共有して取り組んでいます。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>訓練といわれる物は現在行っていない。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年間に不定期ではあるが火災発生時の防災訓練を行っている。地域との災害時の連絡体制は未だ不十分である。</p>	<p>防災訓練は、消防署や法人の防災管理室の立会いの下で行われ、講評を次回の訓練につなげています。また地域への協力要請も、運営推進会議メンバー等を通して推進しようとしています。スプリンクラーの設置は22年度実施の予定となっています。</p>	<p>非常持ち出し備品も3日分の食料などが備えられています。持出し方法についてと避難通路に一時的でも物品を置かないことの徹底が期待されます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の尊重に当たり前に努めている。	職員にはミーティングや管理者が気が付いたその折を捉えて具体的な投げかけを通して年長者への敬意の払い方を指導しています。申し送りはイニシャルで行い、個人情報 は鍵のかかるロッカーへ保存していません。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御本人の思いを大切にしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その方その方のペースに合わせた個別ケアを日々行っている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その方の嗜好を尊重し、整容に努めるように支援している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好の把握に努め、食事を楽しんで頂ける様な食事の提供をおこなっている。	献立を立てる際に希望を聞いています。配膳前のテーブル拭きを皆でし、気の合う方の席を近くしています。ホームの畑で収穫した新鮮な野菜も並び、お正月やお花見など行事食も取り入れ、楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量の把握や食事量の調節。栄養バランス等に日々注意をはらっている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内の清潔には常に注意をしている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別性を尊重し、出来る限りトイレでの自立した排泄を行って頂く様に努めている。	排泄パターンと仕草をみて、なるべくトイレで排泄頂ける様誘導を行っています。声掛けはなるべく小さな声で行い、また、失敗した時は無理強いしない様配慮し、さりげなく支援をしています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便の周期を把握し、自然排便を促す様に取り組んでいる。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	出来る限り個別性に対応した入浴を行って頂く様に努めている。	必要があれば複数のスタッフで介助し、体調が許せばできるだけ浴槽に浸かって頂ける様支援しています。入浴剤やゆず湯なども取り入れています。拒否のある方にはスタッフを変えたりタイミングを捉えたりと、工夫しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ゆったりと休んで頂ける空間を作るように支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の把握と効能の把握に努めている。疑問点は医療機関に問い合わせるなど行っている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活がマンネリにならない様に図っている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り外出の機会を多く持って頂く様にし、御本人の希望を尊重するように努めている。	天気がよければ短い時間でも車椅子の方も含め、近くのお寺やお花屋さんなどへ散歩の機会を増やすよう努力しています。車の食品買出しと一緒にいく事もあります。車でのお花見など行事も行っています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御本人の希望が有れば出来る限り希望に添う様にしている。現在は希望は無い。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御本人が希望されれば全く問題無い。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用されている方々にとって心地よい生活空間で有るように努めている。	玄関や階段、廊下などに漂う古い木造建築の雰囲気は、高齢者の生活に落ち着きと自宅のような安心感をもたらしています。あえて完全バリアフリー化にしなかった考えが、現在も日常のケアに活かされ、残存能力を生かす効果を発揮しています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間をゆったりとした空間に感じて頂ける様努めている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	原則、御本人の私物について制限は設けてはいない。	自宅で生活していた時に近い居室環境作りへの配慮で、布団やベッドなどを含め馴染の物の持込を勧めています。居室は、和室造りで室内の飾りつけなども一人ひとりのライフスタイルに合わせた、過ごしやすい環境作りがされています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活されている方々が安全に心地よく生活を行って頂ける様に工夫させて頂いている。		

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	事業所として市区長担当者との連携や連絡体制が未だ確立されていない。	市区長担当者との連携や協力体制を確立する。	事業所として行政との連携を働きかける積極性を心がける。行政とともにサービスの向上に取り組む姿勢を確立する。	12ヶ月
2	35	避難通路上に物品が置かれており、緊急脱出時に危険である。	緊急脱出路には物を置かないようにし、脱出経路の確保に努める。	脱出経路にある物品を移動し、経路の確保を行う。	3ヶ月
3	35	非常持ち出しの食料の持ち出しの際の方法などを記載したものがない。	非常食の管理と、持ち出しの際の手順書等の整理を行う。	非常食の持ち出し手順書の作成と管理。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。